



# [teeta]



## 「テエタ」

「テエタ」アイヌ語で“昔”を意味します。北の大地で繰り広げられた昔の人々の文化や環境を、現在と未来の人々に伝えるのが私たちの仕事です。昔のこと、古いことを広く知ってほしいという願いを込めて「テエタ」をこの冊子のタイトルにしました。



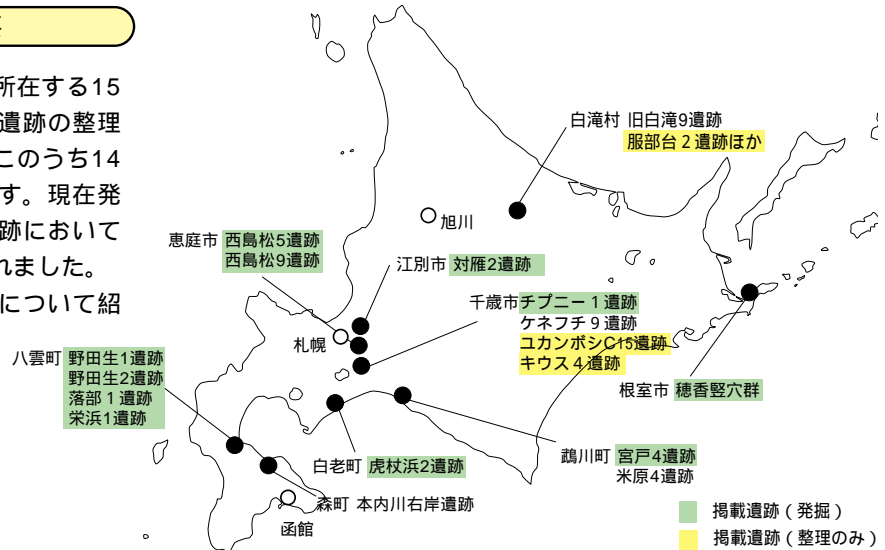
根室市穂香<sup>ほかにい</sup>竪穴群 擦文時代 竪穴住居跡調査状況

平成13年度発掘調査の概要 .....	2
各遺跡の概要 .....	3
整理作業中の遺跡 .....	7
木村尚俊さんを偲んで .....	8

### 平成13年度発掘調査の概要

今年度は道内9市町村に所在する15遺跡の発掘調査ならびに7遺跡の整理作業が計画されています。このうち14遺跡は昨年度に続く調査です。現在発掘調査の途中ですが、各遺跡において多くの遺構、遺物が検出されました。

この内のいくつかの遺跡について紹介します。



### 平成13年度の発掘調査一覧

事業委託者	原因工事	遺跡名	所在地	調査面積 (㎡)	備考				
札幌開発建設部	一般国道337号新千歳空港関連工事	チブニー 1	千歳市	4,800	新規				
室蘭開発建設部	一般国道36号登別拡幅工事	虎杖浜 2	白老町	2,030	H11から継続				
	日高自動車道厚真～門別工事	宮戸 4 米原 4	鶴川町	5,150 1,117	H12から継続				
釧路開発建設部	一般国道44号根室道路工事	穂香竪穴群	根室市	8,000	新規				
網走開発建設部	一般国道450号白滝村白滝道路改良工事	旧白滝 9 白滝遺跡群	白滝村	1,800	新規 整理作業				
石狩川開発建設部	石狩川改修対雁築堤工事	対雁 2	江別市	2,700	H11から継続				
日本道路公団	北海道縦貫自動車道建設工事	野田生 1	八雲町	8,476	H12から継続				
		野田生 2				2,020	H12から継続		
		落部 1						5,300	新規
		栄浜 1							
		山崎 5	森町	3,400	整理作業				
山越 3									
山越 4	森町	3,400	整理作業						
野田生 4									
本内川右岸	森町	3,400	新規						
日本道路公団	北海道横断自動車道建設工事	キウス 4 ユカンボシC15	千歳市		整理作業 整理作業				
札幌土木現業所	道道舞鶴追分線特改1種工事	ケネフチ 9	千歳市	440	新規				
	柏木川改修工事	西島松 5 西島松 9	恵庭市	4,800 1,800	H12から継続 新規				
計				71,609					

■ ■ 掲載遺跡

2001.4.1現在



[Iteata]

## 各遺跡の概要

### 八雲町 野田生1遺跡

遺跡は、八雲町南部の「野田生」地区に位置し、舌状に突出する標高約40mの海岸段丘上に立地しています。高速道路建設に伴う調査区は、この舌状に突出する段丘面を東西に横断するかたちとなり、東側をA地区、西の弥之助沢側をB地区としています。昨年度の調査により、B地区で37軒の竪穴住居跡、26基の土壇などが確認され、縄文時代後期中葉の集落跡であることが明らかになりました。

今年度はB地区の遺構群とその拡張区のC地区（遺構確認範囲）が対象です。新たに土壇約30基、焼土10ヵ所等を確認していますが、配石遺構と集落の範囲など新たな課題も出てきました。また包含層からは縄文時代中期や続縄文時代の遺物などが出土しています。



調査風景



遺物出土状況



竪穴住居跡遺物出土状況



竪穴住居群跡調査状況



遺物出土状況

### 江別市 対雁2遺跡

遺跡は、JR江別駅から北西に約4km、石狩川左岸の河川敷緑地内にあり、旧豊平川との合流点よりも上流側で、標高8mほどの微高地に立地しています。

3年目となる今年度は、調査区域の北側1,500㎡の調査を行っており、縄文時代晩期末の遺構、遺物が検出されています。特に焼土が多くみつかっており、7月末現在で約240ヵ所が確認されています。また、この遺跡では遺物包含層が10面以上重複していて、深いところでは地表から約1.5m下で焼土や遺物がみついています。土器や石器類のほかに石製の玉が2点出土しています。



P-34調査状況

### 恵庭市 西島松5遺跡

遺跡は、柏木川河川改修工事に伴い、昨年度から発掘調査を行っています。昨年度の調査では、北大式期から擦文時代前期にかけての墓が多数発見され、注目を集めました。今年度の調査では柏木川へと続く低位の段丘面を中心に、縄文時代後期末から晩期前葉の遺物が多く出土しています。現在、遺物約15万点の他、土壙や、多数の柱穴状小ピットがみついています。

今後調査範囲を広げると、縄文時代の住居跡や墓、また、昨年度検出した、北大式期から擦文時代にかけての墓がさらに発見されるのではないかと期待しています。



柱穴調査状況

### 恵庭市 西島松9遺跡

遺跡は、柏木川を挟み西島松5遺跡の南東側左岸に位置します。今回の調査では、調査区の殆どは水成堆積による地層であり、深いところでは2メートル近い沢が柏木川に流れ込んでいたことがわかりました。沢跡からは、縄文時代早期末（東釧路式）～晩期初頭（大洞B式相当）の遺物が、沢跡よりも上の層からは7世紀頃（続縄文時代末あるいは擦文時代初頭）の遺物と、骨片やフレイクを伴う焼土が出ています。また縄文時代中期後半（柏木川式あるいは萩ヶ岡3・4式）の住居跡が1軒検出されており、一部を沢跡によって壊されています。住居跡の床面には炭化材や焼土が散乱していることから、焼け落ちたものと考えられます。ここの調査は8月前半で終了しました。



竪穴住居跡遺物出土状況



[Teeta]



自然遺物出土状況

#### 白老町 虎杖浜 2 遺跡

貝塚を伴う縄文時代前期後半の集落遺跡です。

本年度は、集落の発掘調査と貝塚の土壌水洗・遺物選別作業を行っています。集落の調査では、竪穴住居跡が10軒程度見つかるものと予想しています。貝塚の調査では、貝層が良好に残っている部分が存在することが判明しました。シジミを主体とするもので、このほか海産の貝類やシカ、オットセイ等の陸・海獣、骨で作られた銚先などが出土しています。貝塚の土は水洗して細かい遺物や魚骨などを選別する作業を進めています。集落と貝塚の調査を通して、当時の生活を解明することを目指しています。



包含層調査状況

#### 鶴川町 宮戸 4 遺跡

遺跡は、鶴川町を流れるイモッペ川の右岸に面した傾斜地に立地しており、標高20m前後です。平成13年度調査予定区域の北側約1500㎡を重点的に調査しています。

出土する遺物には、縄文時代早期、前期、中期、後期のものがあります。そのなかで早期の撚糸文系土器（東釧路式、コッタロ式、中茶路式、東釧路式）が大部分です。

今後数多くのTピットが検出されることが予想できます。



P-13遺物出土状況

#### 八雲町 野田生 2 遺跡

遺跡は、北に噴火湾を望む標高約35mの海岸段丘上に位置し、西側と東側はそれぞれ無名の沢を境に野田生1遺跡、野田生4遺跡と隣り合っています。

遺跡は主に縄文時代早期中葉、中期前葉、続縄文時代中葉の三つの時期に人々の生活の場となっていました。縄文早期には貝殻で文様をつけた平底の土器が使われていました。縄文中期の人々は発掘区東側の沢に面した台地上の竪穴住居に住み、住居の南側に墓を作りました。竪穴住居廃絶後にくぼみで火をたいたり、土器や石器が捨てられていたものもあります。このほか続縄文の人々が屋外で火をたいた跡も残っていました。

### 八雲町 落部1遺跡

遺跡は、八雲町市街地から17km程東側の落部公園に隣接した、落部川右岸の標高24～40mほどの段丘緩斜面に位置しています。調査工程の関係から全体を3つに分け順番に調査しており、6月末現在で2番目の範囲を調査中です。最初の調査区では縄文時代中期前半の住居跡1軒、縄文時代中期と推測される土壌4基、Tピット3基、焼土7カ所、集石2カ所が検出されました。住居跡は2×3mの楕円形で小型のもので、土器が4個体まとまって出土しています。Tピットは溝状で等間隔に並んでいます。遺物は縄文時代中期のものが多く、わずかに後期および続縄文時代のものが出土しています。



竪穴住居跡遺物出土状況

### 八雲町 栄浜1遺跡

遺跡は、八雲町市街地より18km南東、茂無部川左岸の段丘上にあります。八雲町から国道5号線を森町へ向かう途中、右手山側に駐車場があり、平成9年度の調査で発見された家形石製品を模したオブジェが建っています。それが栄浜1遺跡の目印です。

今年度は、駐車場背後の段丘上、標高42mほどの場所を、約2万平方メートル調査しています。7月までの時点で縄文時代後期前葉の住居跡が5軒と、続縄文時代の墓1基が検出されています。住居のうち2軒は正方形の石組み炉を持っており、その4隅は見事なまでに隙間なく組み合わされています。また、墓には3個体の後北式土器が入っていました。



竪穴住居跡遺物出土状況

### 根室市 穂香竪穴群

竪穴群は、根室市中心部から南西へ約5km、根室湾に面した国後島・知床半島を望む台地上にあり、現在、竪穴住居跡4軒、焼土2カ所、集石1カ所が検出されています。住居跡内などから土器や礫などが約2,000点出土しています。

遺構の時期は、擦文時代の終わりと考えられます。4軒(H-6～8・10)の住居跡のうち最も大きなH-6は一辺が約10mの方形で、カマド2カ所、炉跡4カ所のほか、集石や貝殻のまとまりなどがみられます。他の3軒は、カマドがなく、炉跡や集石がみられます。H-8の2カ所の集石からは、約400点の網やムシロ編みの錘と考えられる棒状礫が出土しています。また、H-10は火災住居で、遺物が比較的多く残っています。



調査風景

## 平成13年度 整理作業中の遺跡



石器接合作業

## 白滝村 白滝遺跡群

今年度は服部台2・奥白滝1・上白滝8・上白滝5遺跡を中心に整理・報告書作成作業を行っています。今年度報告予定の奥白滝1遺跡は、後期旧石器時代から縄文時代にかけての約84万点の遺物があり、その大部分は後期旧石器時代の石器類です。根気強い接合作業の結果、遺跡に持ち込まれた原石や石器素材の状態まで復元できた資料が多数あります。それを詳細に観察すると素材の形や石器製作技術の特徴などがわかり、さらにその資料の分布状況を検討することによって、遺跡内のどこでどんな作業が行われていたかを知ることができます。当時の人々の様々な行動パターンが次第に明らかになってきます。



舟敷部復元作業

## 千歳市 ユカンボシC15遺跡

遺跡からは、平成8～10年度の調査でおよそ1,200～1,300年前の擦文文化期から、アイヌ文化期にかけての木製品が多量に出土しています。中でも注目されるのは、舟とそれに関連する舟敷(舟底部)・舳(舟首部)・舷側板・舟縁材・早櫂・車櫂・車櫂受台部などの遺物です。これらの出土資料は、当時の人々の活動や交易を知る上で大変に重要な意味を持っています。

写真は舟敷部を復元している様子です。この舟敷は、側縁や先端の上方が削り落とされて、大型槽(液体などを入れる容器)に再利用されたものと思われます。



土器の復元作業

## 千歳市キウス4遺跡

平成5～10年度の調査で縄文時代後期を主体として1万基近い遺構が検出され、600万点以上の遺物が出土しました。平成13年度は最も遺物が出土したR地区の整理作業を行い、平成14年度に報告書を刊行する予定です。

土器・石器の接合復元作業と合わせて接合データをもとに遺物がどのように廃棄されたのかを探っています。また、骨片や炭化種子などの微細遺物の同定を行って、どのような動・植物が利用されたかを明らかにしていきます。

この他木製品の保存処理も行っています。



[Teeta]

## 木村尚俊さんを偲んで

平成13年(2001年)7月17日、当センター常務理事(兼第1調査部長)の木村尚俊さんが、享年58才で急逝されました。

木村さんが、昭和49年8月北海道教育庁文化課文化財保護主事として採用されてから亡くなるまでのほぼ27年、その間5年6ヶ月の当センターへの派遣を含めて、私達は一緒に仕事をして参りました。

掘株1・2遺跡を発掘していた、昭和58年には、体調を崩され1回目の心臓の手術をされ、文化課で仕事をしていた平成11年には2回目の手術をされ、思えば永い闘病生活の連続でありました。

そのような苦しい闘病の中にありながら、木村常務は、いつも明るく、やさしくそして人一倍私達仲間に気を使い接してくれたのでした。

彼の人柄にふれ、そして仕事の上で指導を受けた仲間は皆、突然の死去に驚き、悲しみ、そして惜しんでいるのです。職場の中心となって活躍していた彼が亡くなった今、今後どのように仕事を進めたら良いか途方に暮れておりますが、彼が今までおしえてくれた事や、語っていた将来への展望など、数々の彼の言葉を糧としながら、私達は当センターを守り発展させていく覚悟でございます。

さようなら 木村さん、心から御冥福をお祈りいたします。

(センター職員一同)

## 人事異動

退職 鬼柳 彰(第2調査部長)(3月31日付)

木村尚俊(常務理事兼第1調査部長)(7月17日死去)

転出 永井博人(総務課長) 北海道教育庁給与課主査(4月1日付)

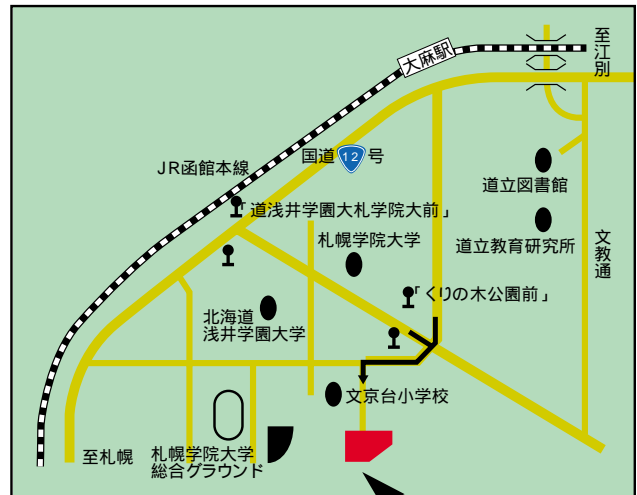
高橋和樹(第2調査部第2調査課長) 北海道教育庁生涯学習部文化課主査(4月1日付)

田中哲郎(主任) 北海道教育庁生涯学習部文化課主任(4月1日付)

転入 第2調査部長 大沼忠春(北海道教育庁生涯学習部文化課主幹)(4月1日付) 第1調査部長兼第2調査部長(7月18日付)

総務課長 阪口博治(石狩教育局経理係長)(4月1日付)

主任 西脇対名夫(北海道教育庁生涯学習部文化課主任)(4月1日付)



### 交通案内

- ・JR 大麻駅から、徒歩約20分
- ・新さっぽろバスターミナル発
  - ・JR バス・夕鉄バス(文教通西循環線)に乗車「くりの木公園前」下車、徒歩5分
  - ・JR バス・夕鉄バス(江別方面行き)に乗車「道浅井学園大札学院大前」下車、徒歩15分

財団法人北海道埋蔵文化財センター  
北海道立埋蔵文化財センター